

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会で協議のうえ作成した「地域間幹線系統確保維持計画（原案）」について、令和6年3月26日から同年4月12日まで意見を募集したところ、館山鴨川線（日東交通㈱）について意見をいただきました。提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

- 1 意見の提出件数 4件
- 2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意見の概要	検討結果
館山-鴨川線について、鴨川市内線と統合し、安房小湊駅～館山イオンに延伸してみてはどうか。	沿線関係市に確認したところ、鴨川市内線への統合については、館山鴨川線と鴨川市内線を統合すると鴨川市内線の運行回数維持が困難となるため、運転手不足が課題となっている現状にあっては難しいのではないか、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
亀田病院までバス１本で行けるので大変便利。日によっては満席に近いような時もあった。朝の時間帯の需要は、まだまだあると思う。	沿線関係市に確認したところ、館山鴨川線について「ニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととしており、いただいたご意見の内容に対応していると考えられます、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和７年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
亀田病院から館山行きのバスには乗れないことが多い。身体が不自由な人のためにもバス停で2～3分の停車時間があってもいいのではないか。	沿線関係市に確認したところ、時間に余裕を持ってバス停でお待ちいただくとともに、もし早発があった場合は、運行事業者に連絡していただきたい、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
・JRダイヤ変更に伴う運行計画の検討とあるが、いい取組だと思う。もし変更する場合は生活に影響する為、あらかじめ期間に余裕を持って事前に広報いただき、減便とならないよう強く願う。 ・朝7時台は通院に使用する高齢者に加え、通勤・通学に使用の方が多く見受けられ利用率も高いが、帰宅の時間帯、館山駅に向かう便が少なく非常に不便な為、電車の使用、長時間の待ち時間を強いられている状況が想定される。 ・17時近くに千倉線とあまり差がない時間帯もあれば、そのあと100分も間が空く便もあるので、効率の良い路線運行をお願いしたい。 ・通勤・通学・通院に欠かせず、年齢問わず利用されているので今後の路線維持、利便性向上を強く願う。	沿線関係市に確認したところ、電車との乗継利便性についても勘案する必要があるため、JR東日本のダイヤ改正に合わせ、バスのダイヤも必要に応じ見直しており、改正する場合は早期の周知に努めたい、との回答がありました。 計画に記載のとおり、路線の見直し等については、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、広報については、「ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。」こととして、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。